

宇和島市教育委員会会議録

令和2年12月定例会

令和2年12月24日開催

宇和島市教育委員会

宇和島市教育委員会 令和2年12月定例会 会議録

1. 開会日時 令和2年12月24日(木)13時30分～

2. 場 所 宇和島市役所本庁 A棟会議室

3. 出席者 教育長 金瀬 聡 委 員 高山 俊治 委 員 木下 充卓
委 員 弓削 由美子 委 員 浅井 敬司 委 員 田村 裕子

4. 欠席者 なし

5. 会議に出席した公務員の職氏名

教育部長	片山 治彦	教育総務課長	西川 啓之
学校教育課長	西田 一洋	生涯学習課長	富田 満久
文化・スポーツ課長	森田 浩二	伊達博物館長	土居 道德
人権啓発課長 (事務局)	山本 利彦	学校給食センター所長	児玉 雅人
教育総務課課長補佐	土居 弘	教育総務課総務係長	山口 真史
教育総務課主事	新居田 智士		

6. 付議事件

報告第38号 専決処分した事件の承認について
(令和2年度教育費12月補正予算の要求について)

7. 会議概要

(1) 開会宣言 (午後1時30分)

◎教育長

それでは只今から12月定例の教育委員会会議を開催致します。

会議に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。今年は年の初めからコロナに振り回された1年でございました。ここへ来て日々の感染者数、また重症者数も、これまでの記録を塗りかえる日々が続いています。新しい年に入って、ご安心できる状況になればと思います。

(2) 教育長報告

◎教育長

資料の1ページ、2ページをご覧ください。ここでは報告にかえて、5点ほど述べたいと思います。

宇和島教育の1ページ目に、「人と宇和島～明るい未来を 私たちの手で～」ということで私の

方から記事を挙げさせていただいています。冒頭、人生であったり、それから自分が属する社会に対しての当事者意識、自分ごとにすることが大事ではないかと述べつつ、世の中との関わりを通じて、身近な地域社会と、そして地域の方々との関わりを通じて、学びに向かう力、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を培うことができるということを記事に挙げています。

2点目として、宇和津公民館の館報をお配りしています。これは城南中学校の取り組みが、コミュニティー・スクールと地域学校協働活動の枠組みの中で、公民館長とも繋がりながら、伝統的な市の無形文化財のお槍振りを復活させたという記事です。学校の教育課程の中で、総合的な時間を活用し、20年ほど途絶えていた伝統芸能を復活させました。裏側をご覧ください。地域の無形文化財を復活させることに関わった中学生はこう言っています。「地域の伝統文化に自分たちが関わった事は大変うれしい」「今後も自分たちが中心となってお槍振りを伝えていきたいと思います」　　こういうふうに関わりながら、実際の体験或いは活動を通じて、しかもそれが、コミュニティー・スクールと地域学校協働活動という枠組みの中での取り組みを通じて、中学生が今後も自分たちが中心となってやりたいと言ってくれています。大変良い取り組みだと感じ、ご紹介させていただきました。

3点目です。宇和津小学校の学校運営協議会の際、校長先生が、熟議を始めるにあたって、委員の皆さん、そして学校の先生方に、プレゼンテーションをされました。その内容をご紹介します。学校運営協議会を活用した共同学習を推進するにあたり、まずは、小学校3年生から6年生までの112名の児童に対して、アンケートを実施しました。質問は、「宇和島で自慢できるもの・有名なものは何ですか」「宇和島の偉人（有名な人）を知っていますか」等々の問いです。

「宇和島の偉人（有名な人）を知っていますか」という問いは、複数回答ができますが、回答の数を全部足すと116になります。112人の児童が、116しか答えてないということは、複数名知らないということの意味しています。そして無記入の児童は、96人いました。実施した学年が小学校3年生から6年生のため、この結果自体はある程度仕方ないところもありますが、実はここに大きな可能性があると思います。そして校長先生がふるさと学習をテーマに掲げ、取り組もうとしていることから、その機会の余地があるとお考えになっているように感じました。先ほどのお槍振りを指導して下さった宇和津公民館長が、学校運営協議会の会長をされており、冒頭の挨拶でこのようなことをおっしゃっています。「先日、城南中学校の学校運営協議会に参加した。学校と地域が結び付いた、郷土学習・ふるさと学習についても多く語られていた。伝統に関してはお槍振りも行われた。公民館研修でも、地域コーディネーターが小中学校に配置されたこと、コミュニティー・スクールとして学校と地域が協働活動するために、公民館の役割が重要だという話があった。地域のことは地域の人がよく知っている。この機会に、よりよい宇和津のために熟議しましょう。」　この学校運営協議会には、学校の先生方も全員参加して、地域の方々も熟議を重ねたため、参加した先生方の感想についても協議録に次のような記録が残っております。「地域の方と話すことがないので、新鮮だった」「地域の方は、すごく良く地域のことを知っていて驚いた」「自分が校区の郷土学を何も知らなくて、ドキドキした」「話し合ったふるさと学習を実際にすることが重要だと感じた」「アンケートの結果を見て、これはいかんと思った」　　そのような

ことを先生方がおっしゃっており、非常に意義深い活動になったことが、この様子から窺えると感じましたので、紹介させていただきました。

4点目は、高光小学校のホームページにある12月17日の記事についてです。『6年生研究事業「アサギマダラの調査をしよう」』これにも総合的な学習の時間が使われています。学習内容は前の時間までにExelに入力したアサギマダラの捕獲記録を、日付、場所、温度、時間別に集計したデータをグラフ化していく学習でした。記事には、「グラフから気づいたことや疑問などの自分の考えを分類・整理しながらロイロノートのテキストに入力した後、友達と対話しながらどんな環境がアサギマダラに適しているかをまとめていく学習でした。本校は昨年度から、環境教育を各教科や総合的な学習の時間と関連付け、教科横断的な」ここが一つのキーワードだと思います。

「教科横断的な学習カリキュラムを作成し、取り組んでいます。今回の研究授業は、Exel・ロイロノートなどICTを活用して主体的・対話的で深い学びに取り組んでおり、(中略)SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」の実現に向けてがんばってます。」とありました。

12月15日には、「SDGsを達成するためにわたしたちのできること」というタイトルの記事があります。地域のボランティア団体と子どもたちが、SDGsと関連づけながら、一緒に活動していると内容です。

また、12月16日の記事では、「木でできたプランターに絵を製作途中の子どもたちに「今君たちがやっていることはSDGsの目標の何と関係があるかな」と質問すると、子どもたちからは、「目標11の住み続けられるまちづくりだと思います。」や「花を植えたりするから目標15の陸の豊かさも守ろうも関係があると思います。」などの意見が出てきました。最後に「うわじまグラマさんと一緒に取り組んでいるから「目標17のパートナーシップで目標を達成しよう」もあると思います。」とありました。今の段階で、子どもたちがSDGsの本当の意味を理解していることにはならないんだと思いますが、いつかその本当の意味を理解して認識し、腑に落ちるときが来るんだろうなということで、これは注目に値する取り組みだということで、紹介させていただきました。

5点目です。12月17日の三浦小学校のホームページに、第17回小学生ぼうさい探検隊マップコンクールにおいて、防災担当大臣賞を受賞したという記事がありました。これは、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の枠組みの中で、地域の方と関わりながら、地元の防災マップを作る取り組みです。昨年も、今年作ったマップとは別の地域について製作しており、文部科学大臣賞を受賞しています。こちらも、非常に良い取り組みになっていると思います。

以上、12月に入り、目を引く取り組みをしている記事がありましたので、ご紹介させていただきました。

ー 委員からは特に意見なし。ー

(3) 付議事件

◎教育長

議事に入ります。

報告第 38 号について事務局から説明をお願いいたします。

○学校教育課長

3 ページを開けてください。報告第 38 号専決処分した事件の承認について、担当課の学校教育課から順次説明させていただきます。

教育総務費、教育指導費、教育指導事業の中で、12 月補正予算で 2 件補正をかけております。

1 点目については、13 ページをご覧ください。ICT 支援員配置事業です。GIGA スクール構想に伴い、ICT 機器端末が各学校に 1 人 1 台納入されております。機器操作、或いは授業での活用について、支援員を配置し、活用を深めていこうというものです。これについて、101 万円及び旅費として 26 万 7,000 円の費用弁償をつけていただいております。

もう 1 点、資料の 1 ページです。新型コロナウイルス感染症対策分として、修学旅行の変更に伴うキャンセル料の公費負担をつけていただいております。これにより、小学校が計画していた、九州への修学旅行におけるホテルのキャンセル料について補填をしております。なお修学旅行については、概ね順調に推移しておりますが、まだ全部完了しているわけではありません。この 2 学期から 3 学期にかけて、新型コロナウイルスの対応を見ながら、実行について慎重に検討していきたいと考えております。以上です。

○文化・スポーツ課長

文化スポーツ課からご報告申し上げます。体育施設管理費の中の体育施設管理事業と丸山公園管理事業について、補正をさせていただいております。

需用費の機械器具修繕料 27 万円ですが、三間のグラウンドにある除草機のローターを取り換えるものです。役務費手数料 45 万円につきましては、宮下グラウンドのハゼの木の伐採の手数料です。丸山公園管理事業の需用費施設修繕料 160 万円は、丸山球場のバックスクリーンの電光が一部破損をしておりますので、それを修繕するものです。以上です。よろしくをお願いいたします。

○学校給食センター所長

学校給食センターです。自校式学校給食管理費の宇和島地区自校給食管理事業につきまして、役務費の通信運搬費が、島嶼部自校式の 3 調理場、蔀、日振島、戸島の 3 調理場へ食材を納める業者の変更により、物資運搬代、高速船代が新たに生じ、予算が不足しました。そのため、24 万円を増額補正したものであります。以上です。

◎教育長

令和 2 年度 12 月の補正予算について、事務局から説明してもらいました。この内容についてご質問等あればお願いいたします。

◎全委員

ー特に質問、意見等なしー

◎教育長

特にないようですので、採決に移りたいと思います。報告どおり、承認することに賛成いただける方は挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員ということで、本件は報告通り承認いたします。

以上で本日の予定の議事は終わりました。

(4)その他

◎教育長

他にご意見等ありませんか。事務局からありますか。

○人権啓発課長

人権啓発課です。愛媛県が、コロナに対する差別と偏見を無くそうということで、県内各市町村に、シトラスリボンプロジェクトに賛同した柑橘の色でのライトアップの協力依頼があります。宇和島も市立宇和島病院が対応いただけることになりまして、12月25日午後6時から1月15日の金曜日までライトアップいたします。以上でございます。

◎教育長

新型コロナウイルスの感染者も全国で増えています。差別偏見を防止する意識を高める意味でも、意義のあるチャレンジかと思います。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは次回の日程について。

－ 協議のうえ、1月定例教育委員会会議を1月26日に開催することを決定する。－

(5)閉会宣言（午後2時00分）

◎教育長

それでは以上をもちまして、12月定例教育委員会会議を閉会します。